

茨城県移動性・安全性向上委員会

第32回委員会資料 (安全性)

令和5年8月21日

国土交通省 常陸河川国道事務所
茨城県土木部

目次

1. これまでの経緯	p2
2. 第31回委員会における主な指摘事項と対応	p4
3. 事故ゼロプランの取り組みについて	p10
4. 交通安全対策検討	p12
・ 路面標示の検討について	p13
・ 第6期事故危険区間	p15
・ 対策効果未発現箇所	p17
5. 新たな事故危険区間【第7期】の選定結果	p23
6. その他	p27
7. 今後のスケジュール	p29

1. これまでの経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の経緯

- ・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加対策の検討をまいりました。
- ・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、新たに事故危険区間を選定するルール(基準)を設定し、現時点までで第1期～第6期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきております。

■これまでの主な検討内容

年度	委員会	事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定(国146区間、県383区間) ・事故危険区間の代表61区間の設定(国52区間、県9区間)
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討(個別調書の作成)
平成24年度	第5・6・7・8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討(追加およびフォローアップ) ・新たな事故危険区間90区間(第2期事故危険区間)の設定(最新データによる選定:国23区間、県67区間)
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間(第2期事故危険区間)の追加(アンケートによる選定:国14区間、県10区間) ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H25事故危険箇所:国13区間、県28区間)
平成26年度	第12・13・14回	・新たな事故危険区間126区間(第3期事故危険区間)の選定(最新データおよびITデータによる選定:国69区間、県57区間)
平成27年度	第15・17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H29事故危険箇所:国11区間、県19区間)
平成28年度	第18・19回	・新たな事故危険区間64区間(第4期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国35区間、県29区間)
平成29年度	第20・21回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間)の検討
平成30年度	第22・23回	・新たな事故危険区間103区間(第5期事故危険区間)の設定 (最新データおよび最新指標値による選定:国19区間、県84区間)
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア(第5期事故危険区間(エリア))の設定(最新データによる選定:国4エリア、県17エリア)
令和2年度	第26回・第27回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間(エリア))の設定 ・対策完了(卒業)ルールの検討
令和3年度	第28回・第29回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国27区間、県20区間) ・第5次事故危険箇所29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(事故危険箇所:国11区間、県18区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定
令和4年度	第30回・第31回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)・対策効果未発現箇所の対策検討 ・対策完了(卒業)判定の結果、国31区間、県26区間が対策完了と判定 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定方針の検討

2. 第31回委員会における主な指摘事項と対応

- 卒業できなかった箇所の対策検討について
- 工作物衝突事故について
- 生活道路エリアについて
- 交通マナー向上のための施策検討について
- 路面標示について

第31回委員会における主な指摘事項と対応

・第31回委員会で指摘や助言を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘等事項	対応方針
-対策完了(卒業)判定- 1.卒業できなかった箇所の追加対策検討について	卒業できなかったという事は、対策内容が妥当でなかったもしくは、事故の傾向がかわったと考えられる。データに基づいてしっかりと再対策を検討してほしい。	対策前後の事故の発生状況を整理し、ETC2.0によって区間の速度や急制動を分析。詳細は「交通安全対策検討」にて記載。(p19~22)
-第7期の選定指標- 2.工作物衝突事故について	死亡事故になりやすい事故類型で工作物衝突事故が19.3%と特に多い。事故が発生した位置が同じ箇所で起きていれば道路構造が悪いかもしれないという考察もできる。この類型に着目して分析を深掘りしてほしい。	工作物衝突事故に着目した分析を実施(p6~7)
3.生活道路エリアについて	3年前くらいにスクールゾーンの生活道路エリアで対策をするという話をしていたかと思うので、その結果についても報告をしてほしい。	近年の取り組みとしてゾーン30プラスについて紹介。(p8)
4.交通マナー向上のための施策検討について	今後マナー対策として県警本部とも連携し、検討を進めてもらいたい。(第30回)	これまでの意見を集約しチラシ案を作成。(p9)
5.路面標示について	普通の路面標示は前の車に隠れる場合があり、横文字の路面標示という方法も考えられる。(第29回)	横文字の路面標示の見え方をドライビングシミュレーターを用いた動画を作成し、道路利用者にヒアリング。調査の結果を報告。(p13~14)

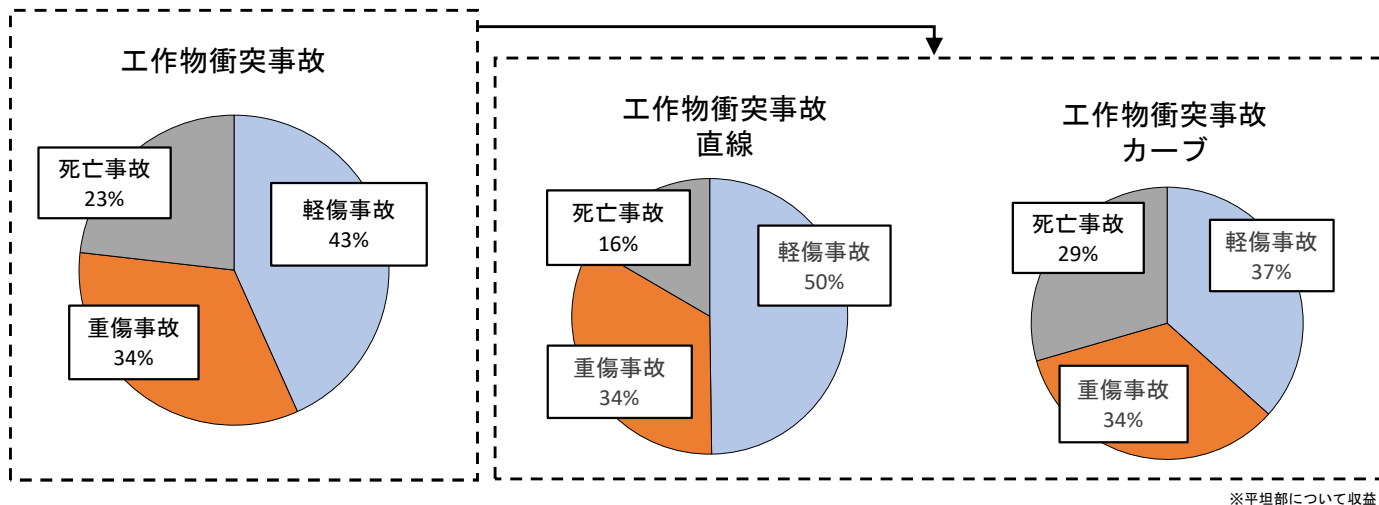
工作物衝突事故※について

※死傷事故のみを対象

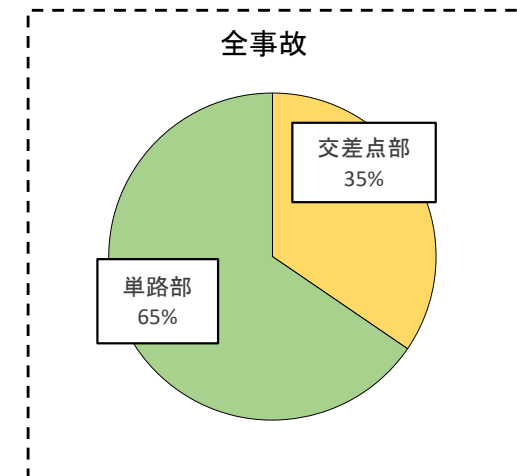
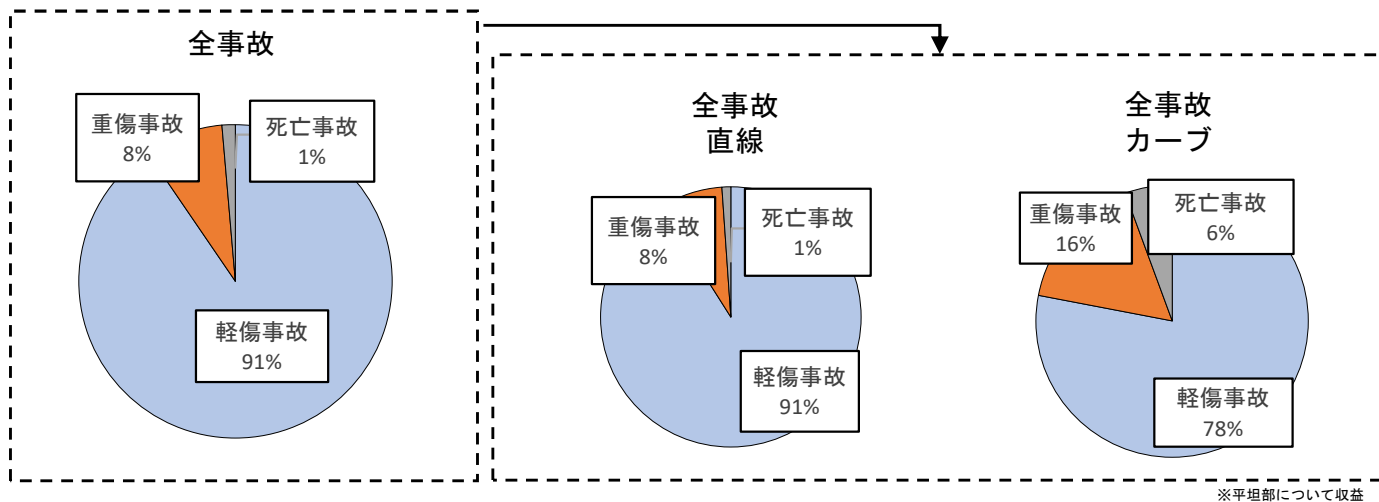
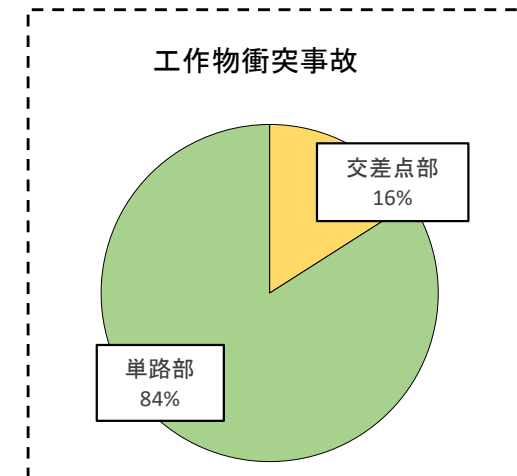
- ・10年間で発生した死傷事故のデータ整理を行いました。(H24～R3)
- ・工作物衝突事故の死亡事故、重傷事故の発生割合は、全事故と比較して多くなっています。
- ・また、直線区間とカーブ区間を比べると、カーブ区間の方が死亡事故が発生しやすい傾向にあります。
- ・交差点/単路部別にみると、全事故と比較して単路部で発生しやすい傾向にあります。

■工作物衝突事故の特徴について

死亡事故・重傷事故の発生状況



交差点部/単路部別の発生状況

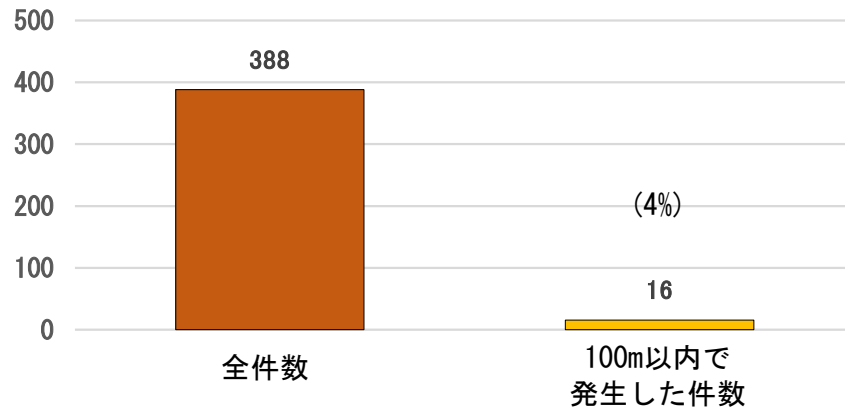


工作物衝突事故※について

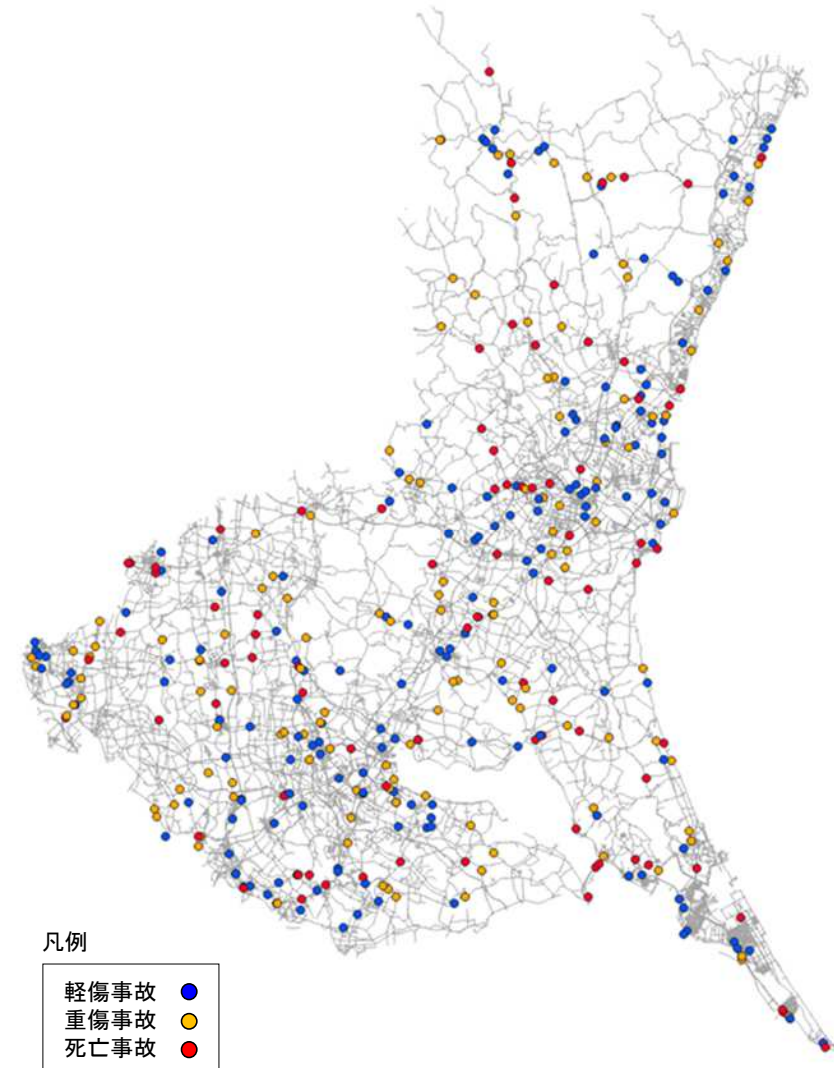
※死傷事故のみを対象

・工作物衝突事故の発生位置を整理した結果、100m以内で距離で発生した事故は全388件のうち16件となっています。

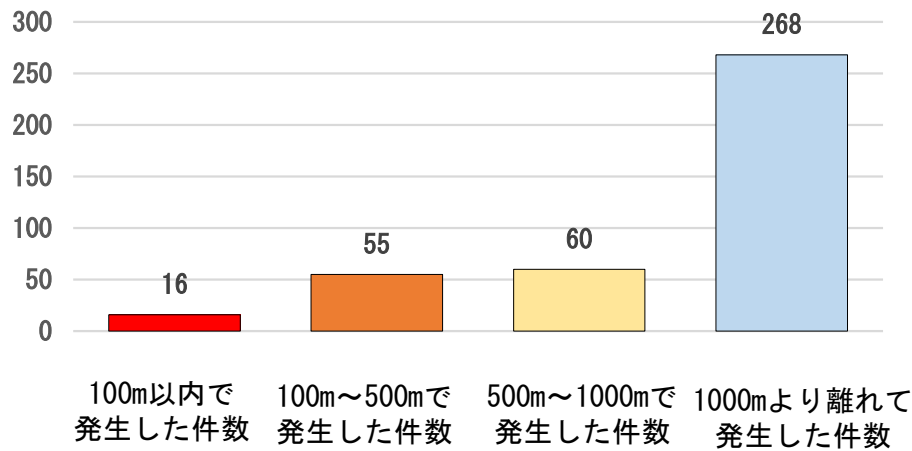
■ 工作物衝突事故の発生件数 H24～R3(過去10年)



■ 工作物衝突事故の発生状況 H24～R3(過去10年)



■ 工作物衝突事故の距離別発生件数 H24～R3(過去10年)



ゾーン30プラスについて

- ・国土交通省と警察庁が連携して進める生活道路の交通安全施策「ゾーン30 プラス」は、令和3年8月に施策を開始しました。
- ・県内では生活道路対策エリアに139箇所登録されており、そのうち「ゾーン30 プラス」には4箇所が登録されています。

■新たな連携施策「ゾーン30プラス」について

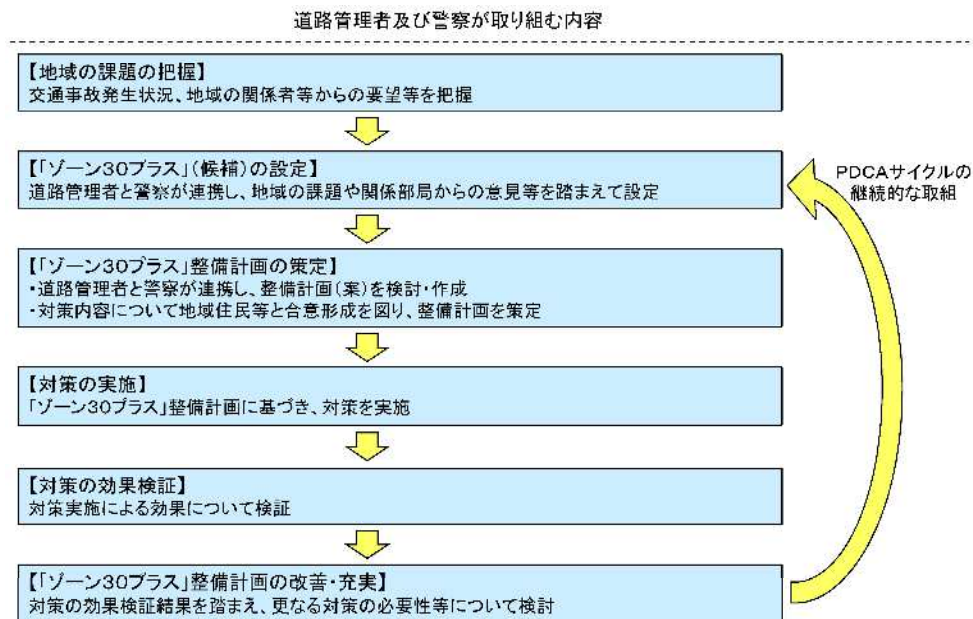


<生活道路の交通安全ポータル・国土交通省HP>

警察

道路管理者

■ゾーン30プラスの取り組みフロー



<記者発表資料・生活道路の交通安全に係る連携施策「ゾーン 30 プラス」の取組状況について・国土交通省HP>

■県内の生活道路対策エリア (139エリア)

市区町村	エリア数	市区町村	エリア数	市区町村	エリア数
水戸市	31(1)	常陸大宮市	3(2)	美浦村	1
古河市	5	那珂市	4	境町	7
石岡市	7	筑西市	2	日立市	10
結城市	2	桜川市	4	常陸太田市	3
高萩市	4	行方市	3	下妻市	3
北茨城市	1	鉾田市	3	大子町	9
笠間市	2	小美玉市	7	利根町	3
つくば市	9(1)	茨城町	4	阿見町	1
ひたちなか市	4	大洗町	2	牛久市	1
守谷市	2	城里町	2		

() ゾーン30プラス

交通マナー向上のための施策検討について

- ・第31回委員会にて作成方針を示した交通マナー向上のためのチラシ案を作成しました。
- ・安全対策運動に合わせのHP等に掲載することを調整していきます。

■茨城県の交通マナーの特徴

(JAFアンケート)

- ・茨城県は交通マナーが悪いと考えている人が多い。
- ・「あおり運転」等で運転マナーが悪いと考えている人が多い。

(死亡事故の法令違反)

- ・死亡事故発生時は「右側通行」や「最高速度違反」などの悪質違反が全国と比較して多い。

(県警の取り組み)

- ・「茨城ダッシュ」(交差点手前で赤信号停止中、青色信号へと変わった瞬間、またはその直前に猛ダッシュで対向直進車よりも先に右折すること)についての注意喚起を実施中。
- ・「その手で合図！止まってくれてありがとう大作戦」など感謝を示すことから優しい心を生み、ドライバーのマナーを向上させる取り組みを実施中。

■委員会での意見

近年「あおりハンドル」という一度曲がる方向と逆側にハンドルを切ってから反対方向に曲がる運転が問題になっている

■チラシ案

マナーの悪い運転はやめましょう

速度を出し過ぎず
ゆとりのある運転を!

無理な追越し

速度の出しすぎ

あおり運転

茨城ダッシュ!

茨城県は悪質違反による死亡事故が多発!!

茨城県	24%
全国	14%

死亡事故の悪質違反の割合(※)

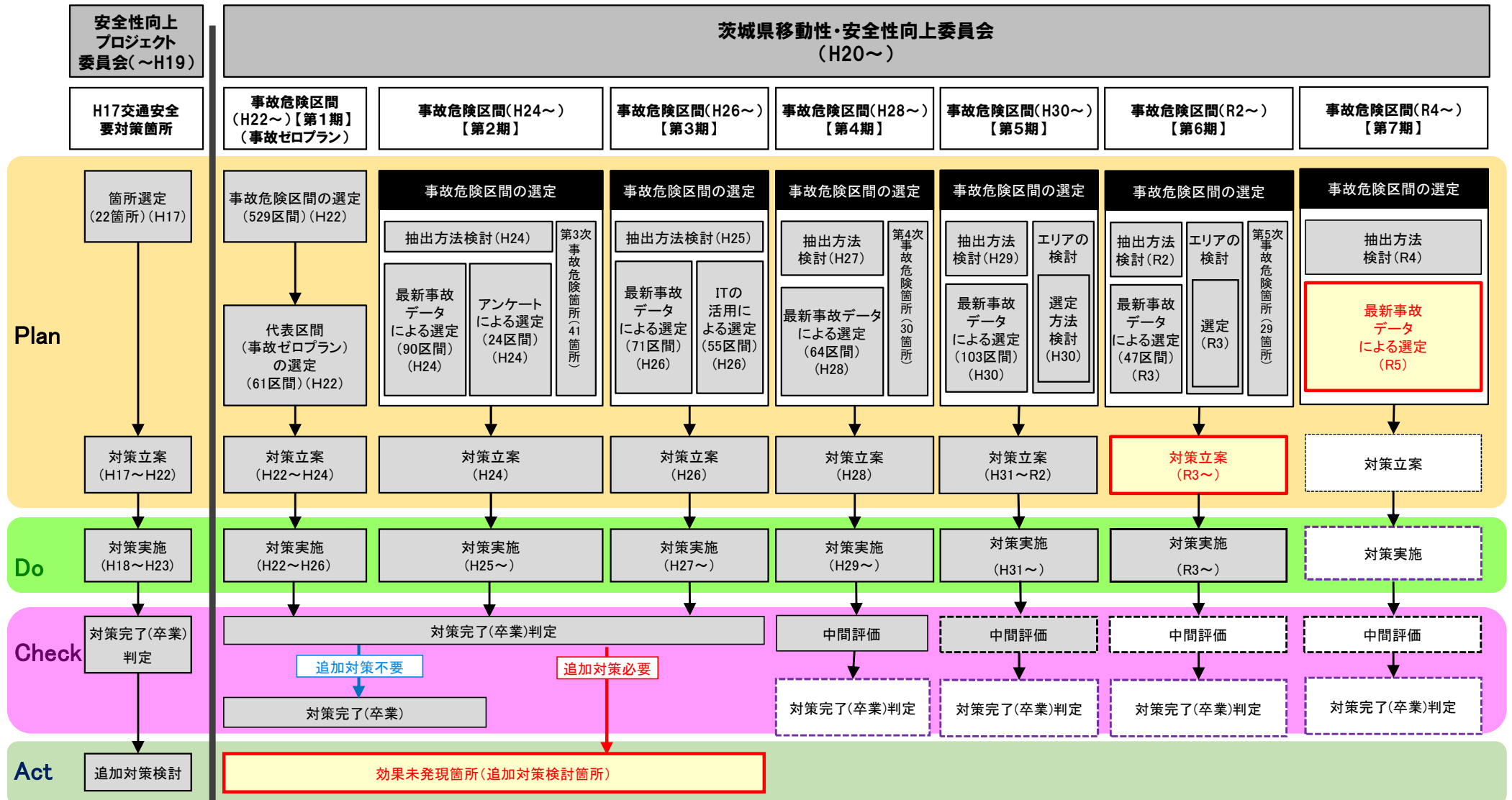
- ・マナーの悪化が重大な事故や死亡事故につながります。
- ・運転は速度を出し過ぎず、思いやりとゆとりを持って行いましょう。

茨城県の運転マナー向上にご協力下さい!
茨城県移動性・安全性向上委員会

3. 事故ゼロプランの取り組みについて

事故ゼロプランの取り組みについて

- ・第31回の安全性向上委員会では、「対策実施箇所の対策完了(卒業判定)」と「事故危険区間【第7期】の方針」について、確認をしていただきました。
- ・今回の委員会では、第7期事故危険区間の「最新事故データによる選定」「第6期事故危険区間の対策検討」「効果未発現箇所(追加対策検討箇所)」について取り上げます。



 : 検討・実施済の項目
 : 今回委員会で取り上げる項目
 : 今後実施する項目

4. 交通安全対策検討

- 路面標示の検討について
- 第6期事故危険区間 国管理 対策案1箇所
- 対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所) 国管理 7箇所
- 対策効果未発現箇所の分析(代表箇所)
 - 土浦市 中(区間)
 - 茨城町 長岡新田交差点

路面標示の検討について

- ・第29回委員会での議論を受け、既存の縦文字の路面標示だけでなく横文字の路面標示について、検討を行いました。
- ・横文字の路面標示をDS(ドライビングシミュレーター)を用いて再現し、道の駅にて道路利用者に見やすさについてのヒアリング調査を行うことで、対策の有効性を検証しました。

■DS(ドライビングシミュレーター)を用いたヒアリング調査

■概要

実施箇所 : 道の駅筑西グランテラス
 サンプル数 : N=28
 調査内容 : 動画を見て路面標示の見やすさを比較
 (横文字の路面標示)

■横文字路面標示の事例

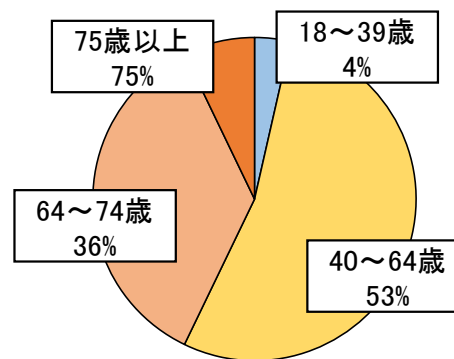


横文字の路面標示の事例 (横浜新道)

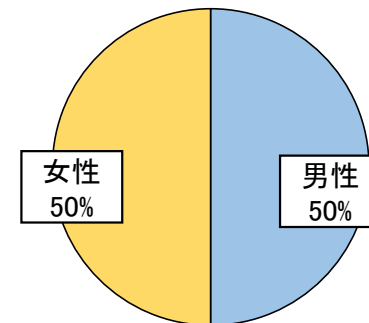


横文字の路面標示の事例 (福岡国道管内)

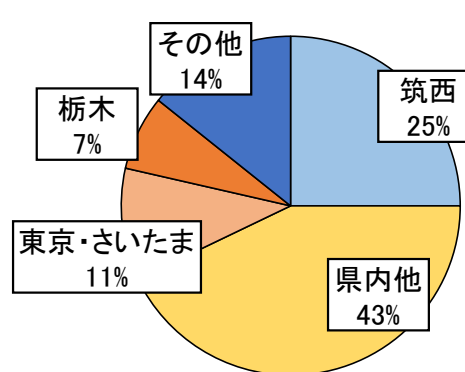
■回答者の属性 (N=28)



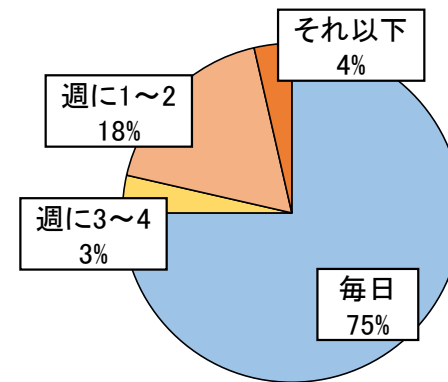
年齢



性別



普段運転する地域



車の運転頻度

路面標示の検討について

- ・DS(ドライビングシミュレーター)によるモデル空間は、追突事故が多発していた区間をモデルとし、当該箇所の交通状況(渋滞にて常に前方に車両がいる状況)を再現した上で動画を作成しました。
- ・調査の結果「横書きの路面標示」が見やすいという意見が多く見られたことから、交差点の流入部や、渋滞が激しい単路部での対策として、今後、管内でも取り扱う事を考えます。

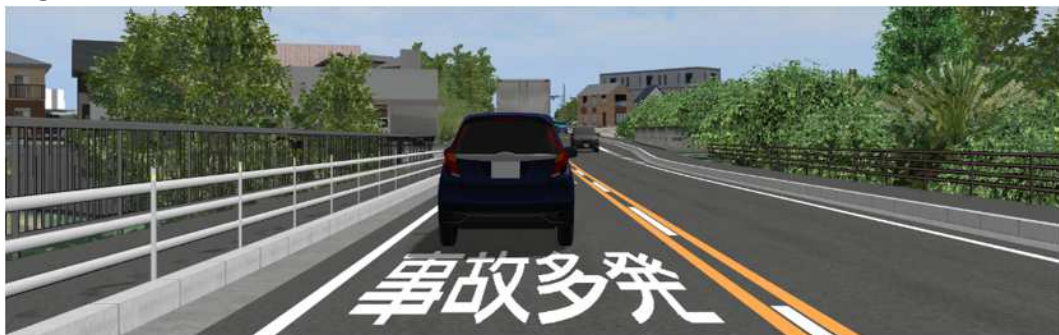
■DS(ドライビングシミュレーター)を用いたヒアリング調査

■調査結果

①「縦書き路面標示」

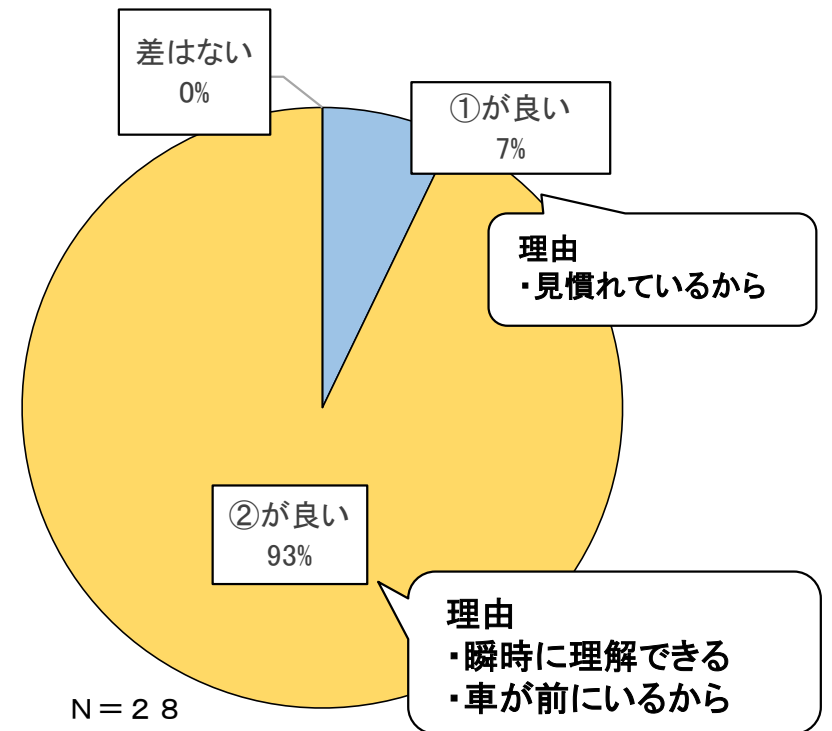


②「横書き路面標示」



■動画の条件

- ①追突事故が多発する区間をモデルとした
- ②混雑区間であるため、交通状況を再現して20km/h程度の速度で走行した動画を作成



交差点の流入部や、渋滞が激しい単路部では「追突注意」「車間確保」「事故多発」等の横文字路面標示を使用

第6期事故危険区間 国管理

- ・第28回委員会では第6期事故危険区間として、国管理27箇所を選定しました。
- ・今回委員会では国管理の1箇所について対策案を提示します。



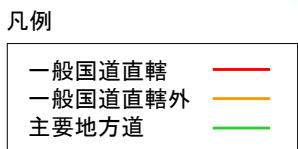
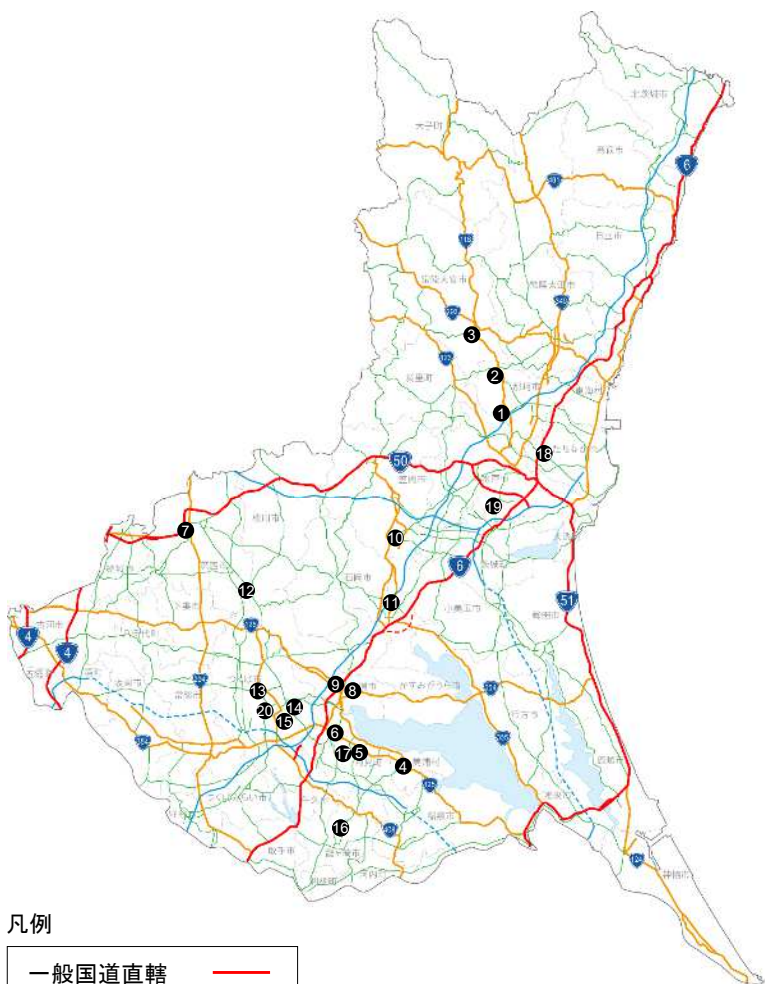
凡例

- 一般国道直轄 —
- 一般国道直轄外 —
- 主要地方道 —

基本データ							H28-R01事故データ											対策案提示済み箇所	今回対策案提示箇所	備考
ID	管理者	路線名	交差点/単路	市町村名	箇所名	イタルダ区間番号	基本指標			地域指標						新たな指標				
							死傷事故率	死傷事故件数	死者数	×歩行者・自転車・車両事故件数	夜間事故件数	子供(15歳以下)事故件数(1当2当)	高齢者(65歳以上)事故件数(1当2当)	横断歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	(1当2当の組み合わせ)	二輪車事故件数	
基準値							300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3		
1	常陸河川国道	一般国道6号	単路	取手市	取手市大曲(区間)	08-T12876-000	57.5	4	1	0	0	0	2	0	3	0	1	1	●	
2	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市遠山町(区間)	08-T64382-000	99.8	6	0	0	2	0	4	0	3	0	0	3	●	
3	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市牛久町(区間)	08-T06307-000	93.3	6	0	0	0	0	2	0	4	2	0	0	●	
4	常陸河川国道	一般国道6号	単路	牛久市	牛久市牛久町みどり野団地周辺(区間)	08-T05235-000	118.8	7	0	0	3	0	1	0	4	2	0	1	●	
5	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	土浦市	学園東大通り入口周辺	08-K02814-000	234.1	7	0	0	1	0	2	0	1	0	0	3	●	
6	常陸河川国道	一般国道6号	単路	土浦市	土浦市中村南4丁目(区間)	08-T63279-000	73.9	4	0	0	2	0	0	0	3	0	0	3	●	
7	常陸河川国道	一般国道6号	単路	土浦市	土浦市原の前交差点付近(区間)	08-T65668-000	182.8	10	0	0	1	0	5	0	10	0	0	0	●	
8	常陸河川国道	一般国道6号	単路	かすみがうら市	かすみがうら市清水交差点付近(区間)	08-T08226-000	203.0	17	0	0	6	0	2	0	15	1	0	0	●	
9	常陸河川国道	一般国道6号	単路	石岡市	石岡市石岡(区間)	08-T02762-000	213.2	19	0	1	7	0	6	1	15	0	0	0	●	
10	常陸河川国道	一般国道6号	単路	小美玉市	小美玉市堅倉(区間)	08-T65447-000	77.0	4	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	●	
11	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	茨城町	小幡南交差点	08-K03949-000	346.5	9	0	0	2	0	3	0	7	0	0	1	●	
12	常陸河川国道	一般国道6号	単路	ひたちなか市	市毛十字路交差点南側(区間)	08-T65177-000	53.6	16	0	0	6	0	1	0	10	0	0	1	●	
13	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市石名坂町(区間)	08-T60735-000	138.5	9	0	0	4	0	5	0	9	0	0	0	●	
14	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	日立市	森山町交差点	08-K05001-000	157.3	7	0	3	4	0	5	3	2	1	0	0	●	
15	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市森山町3丁目(区間)	08-T07951-000	55.6	5	0	1	0	0	1	0	1	2	0	1	●	
16	常陸河川国道	一般国道6号	単路	日立市	日立市小木津町(区間)	08-T04523-000	75.1	4	0	0	2	0	1	0	3	0	1	0	●	
17	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	日立市	国道461号入口交差点	08-K05530-000	379.2	10	0	0	3	0	3	0	10	0	0	0	●	
18	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	高萩市	高浜町一丁目交差点	08-K05478-000	151.7	4	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	●	
19	常陸河川国道	一般国道6号	単路	高萩市	高萩市高戸(区間)	08-T06034-000	113.5	5	0	0	3	0	2	0	4	0	1	0	●	
20	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	龍ヶ崎市	牛久沼東交差点付近	08-K60839-000	118.9	4	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	●	
21	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	牛久市	ひたち野北大通り入口交差点	08-K06798-000	267.6	8	0	1	5	0	2	1	2	0	0	3	●	
22	常陸河川国道	一般国道6号	交差点	水戸市	けやき台入口交差点	08-K07013-000	309.2	9	0	0	5	0	4	0	5	0	0	0	●	
23	常陸河川国道	一般国道50号	交差点	水戸市	上中妻小入口交差点	08-K07036-000	294.4	19	0	0	7	0	6	0	10	0	1	1	●	
24	常陸河川国道	一般国道51号	単路	鉾田市	鉾田市柏熊東側(区間)	08-T09680-000	32.0	4	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	●	
25	常陸河川国道	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	神向寺南交差点	08-K06348-000	639.1	9	0	1	5	0	2	1	8	0	0	0		鹿嶋バイパス開通のため経過観察
26	宇都宮国道	一般国道4号	単路	古河市	古河市高野(区間)	08-T68125-200	17.7	4	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	●	宇都宮国道検討
27	宇都宮国道	一般国道4号	交差点	古河市	(仮)上片田北交差点	08-K06563-000	180.7	12	0	0	0	0	1	0	8	0	1	1		交差点改良予定のため経過観察

第6期事故危険区間 県管理

- ・第28回委員会では第6期事故危険区間として、県管理20箇所を選定しました。
- ・前回委員会までに20箇所全ての対策案を提示済みです。

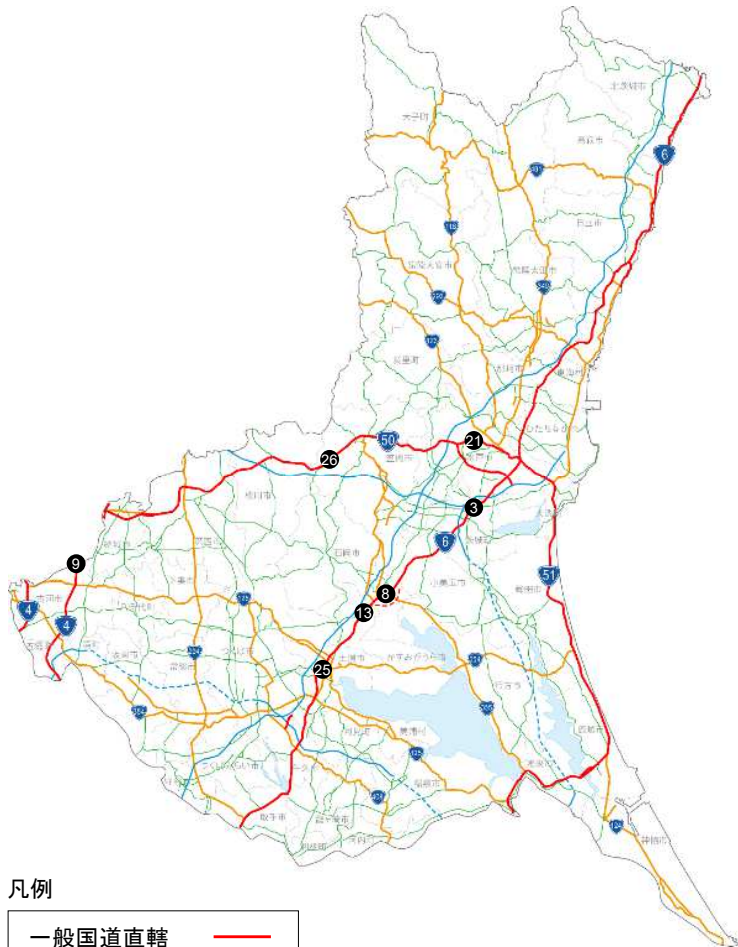


基本データ						H28-R01事故データ										備考			
区	管理者	路線名	交差点/単路	市町村名	箇所名	イタルダ区間番号	基本指標			地域指標							新たな指標		
							死傷事故率	死傷事故件数	死者数	夜間事故件数 (1当2当)	歩行者・自転車 ×車両事故件数	子供(15歳以下)事故件数 (1当2当)	高齢者(65歳以上)事故件数 (1当2当)	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数 (1当2当の組み合わせ)		
基準値							300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3	
1	茨城県	一般国道118号	単路	那珂市	那珂市飯田(区間)	08-T03367-000	53.7	8	0	1	3	0	6	1	0	3	0	1	
2	茨城県	一般国道118号	交差点	那珂市	ナザレ園入口交差点	08-K04684-000	436.6	9	0	0	4	0	3	0	7	0	0	0	
3	茨城県	一般国道118号	交差点	常陸大宮市	(仮)常陸大宮市立第二中北交差点	08-K07175-000	212.6	8	0	1	2	0	5	1	1	0	0	0	
4	茨城県	一般国道125号	交差点	稲敷郡美浦村	(仮)三浦村郷中交差点	08-K60694-000	386.9	8	0	0	2	0	3	0	6	1	0	0	
5	茨城県	一般国道125号	交差点	稲敷郡阿見町	大竹橋交差点	08-K06770-000	435.2	9	0	0	3	0	2	0	4	0	0	1	
6	茨城県	一般国道125号	交差点	土浦市	(仮)土浦市右鞆グラウンド北交差点	08-K06792-000	0.0	12	0	0	2	0	5	0	5	0	0	0	
7	茨城県	一般国道294号	交差点	筑西市	一本松交差点	08-K06643-000	358.4	10	0	0	5	0	2	0	3	0	0	2	
8	茨城県	一般国道354号	交差点	土浦市	木田余跨線橋東交差点付近	08-K50138-000	540.6	11	1	0	2	0	2	0	1	0	0	1	
9	茨城県	一般国道354号	交差点	土浦市	木田余バイパス西入口交差点	08-K07736-000	393.1	8	0	0	1	0	6	0	4	0	0	0	
10	茨城県	一般国道355号	交差点	笠間市	(仮)笠間市押辺西交差点	08-K03912-000	557.8	10	0	0	5	0	2	0	9	0	0	0	
11	茨城県	主要地方道7号	交差点	石岡市	行里川交差点	08-K03565-000	246.8	9	0	0	5	0	6	0	3	0	0	2	
12	茨城県	主要地方道14号	交差点	桜川市	(仮)真壁町酒寄南交差点	08-K03471-000	728.9	9	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	
13	茨城県	主要地方道19号	交差点	つくば市	学園の森交差点	08-K03101-000	0.0	8	0	0	2	0	0	0	3	0	1	0	
14	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	花室交差点	08-K06913-000	301.7	14	0	0	4	0	4	0	3	0	0	0	
15	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	学園東大通り交差点	08-K06732-000	323.2	15	0	0	5	1	2	0	7	0	0	0	
16	茨城県	主要地方道34号	交差点	龍ヶ崎市	藤ヶ丘7北交差点	08-K00972-000	337.6	8	0	2	2	1	1	2	1	0	0	0	
17	茨城県	主要地方道34号	単路	稲敷郡阿見町	阿見町中央茨大通り(区間)	08-T63357-000	193.0	8	1	0	1	0	6	0	5	0	0	0	
18	茨城県	主要地方道38号	単路	ひたちなか市	ひたちなか市市毛(区間)	08-T61329-000	137.6	12	0	2	5	2	2	2	5	0	0	0	
19	茨城県	主要地方道50号	交差点	水戸市	平須歩道橋交差点	08-K03989-000	408.8	13	1	3	6	0	4	3	5	0	0	1	
20	茨城県	一般県道244号	交差点	つくば市	(仮)筑波学院大学前交差点	08-K06871-000	390.6	8	0	1	2	0	4	1	2	0	0	0	

対策提示済みまたは経過観察 (Grey box) 該当指標 (Red box)

対策効果未発現箇所(追加対策検討箇所) 国管理

・第31回委員会の対策完了判定で、効果未発現箇所が2箇所追加となり、国管理の効果未発現箇所は合計26箇所となりました(16箇所は前回委員会まで提示済み)。今回委員会では、国管理の7箇所の対策案について提示します。



凡例

- 一般国道直轄 —
- 一般国道直轄外 —
- 主要地方道 —

図番	区分	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数(件/4年)		死傷事故率(件/億キロ)	選定指標(件/4年)											次回以降対策提示箇所	備考	
						対策前(選定時)	対策後		減少率4割未満	死亡者数	歩行者自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故	工作物衝突事故	二輪車事故			指標該当
基準値						16	●	300	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3	-			
1	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	土浦市	学園東大通り入口交差点周辺	H26	62	21	-	373.6	0	3	11	1	5	1	14	0	0	0	●	●	
2	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道50号	水戸市	石川町交差点周辺	H25	64	17	-	178.8	0	5	10	0	4	3	6	0	0	1	●	●	
3	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	東茨城郡茨城町	長岡新田交差点	H23	27	10	-	205.7	0	2	2	0	5	0	4	0	0	1	●	●	
4	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道50号	水戸市	大工町2丁目交差点	H23	15	10	●	327.8	0	3	3	0	5	3	6	0	0	0	●	●	
5	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	土浦市	原の前交差点	H25	13	9	●	301.0	0	4	2	0	1	1	4	0	0	1	●	●	
6	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道51号	水戸市	三の丸1、2丁目交差点周辺	H24	25	13	-	148.8	0	1	1	0	7	0	3	2	0	1	●	●	
7	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	ひたちなか市	田彦二本松交差点	H24	11	10	●	243.2	0	2	4	0	3	0	2	0	0	1	●	●	
8	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	石岡市	石岡市役所入口交差点	H26	11	9	●	201.0	0	2	4	0	2	1	6	0	0	0	●	●	
9	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道4号	古河市	上片田付近交差点	H23	7	8	●	120.4	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	●	●	宇都宮国道検討
10	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	那珂市	笠松交差点	H24	6	12	●	291.8	0	2	7	0	3	1	9	1	0	0	●	●	
11	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	取手市	取手駅西入口交差点	H23	20	9	-	122.1	0	2	3	0	5	0	4	1	0	0	●	●	
12	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	日立市	田尻町4丁目(区間)	H26	6	8	●	156.4	0	3	0	0	4	0	1	0	0	1	-	-	道路改良済み(R1年度完了)
13	第1期(事故ゼロプラン)	一般国道6号	かすみがうら市	下土田(区間)	H25	8	6	●	97.9	0	0	2	0	3	0	6	0	0	0	●	●	
14	第2期(事故データ)	一般国道6号	ひたちなか市	市毛付近	H26	4	8	●	97.3	0	1	2	0	1	0	4	0	0	0	●	●	
15	第2期(事故データ)	一般国道6号	ひたちなか市	市毛(区間)	H26	4	12	●	145.9	0	2	2	0	1	1	8	0	0	0	●	●	
16	第2期(事故データ)、H25事故危険箇所	一般国道50号	水戸市	吉田小南交差点	H25	23	16	●	248.8	0	4	7	1	4	0	10	0	0	0	●	●	
17	第2期(事故データ)	一般国道4号	猿島郡五霞町	消防署前交差点	H26	11	7	●	125.2	0	0	3	0	1	0	5	0	0	2	-	-	改築工事のため経過観察
18	第2期(事故データ)、H25事故危険箇所	一般国道4号	結城市	(仮)小田林南交差点	H27	19	16	●	235.0	1	0	3	0	5	0	13	0	0	1	●	●	第5次事故危険箇所として対策立案済
19	第2期(アンケート)	一般国道6号	牛久市	牛久駅西側区間	H26	42	20	-	113.9	0	7	7	1	7	2	10	0	0	2	●	●	
20	第2期(アンケート)	一般国道50号	笠間市	才木交差点	H26	9	8	-	305.7	0	0	3	0	4	0	8	0	0	0	●	●	
21	第2期(アンケート)	一般国道50号	水戸市	水戸市松が丘2丁目～西原2丁目	H26	13	9	-	45.3	0	1	3	0	3	1	3	1	0	3	●	●	
22	第2期(アンケート)	一般国道6号	ひたちなか市	田彦交差点	H26	14	11	-	267.5	2	1	7	0	4	0	5	0	0	0	●	●	
23	H25事故危険箇所	一般国道50号	桜川市	上野原地新田(区間)	H26	8	9	●	122.9	0	2	5	0	3	1	8	0	0	0	●	●	
24	第3期(事故データ)	一般国道50号	筑西市	布川(区間)	H21	9	6	●	122.5	0	1	3	0	2	1	4	0	0	0	-	-	結城バイパス開通のため経過観察
25	第3期(事故データ)	一般国道6号	土浦市	中(区間)	H28	21	14	●	234.1	0	1	3	0	2	0	12	0	0	0	●	●	
26	第3期(ITデータ)	一般国道50号	筑西市	稲田(区間)	H28	6	5	-	114.9	0	0	0	0	1	0	3	0	1	1	●	●	

対策提示済みまたは経過観察 ■ 該当指標

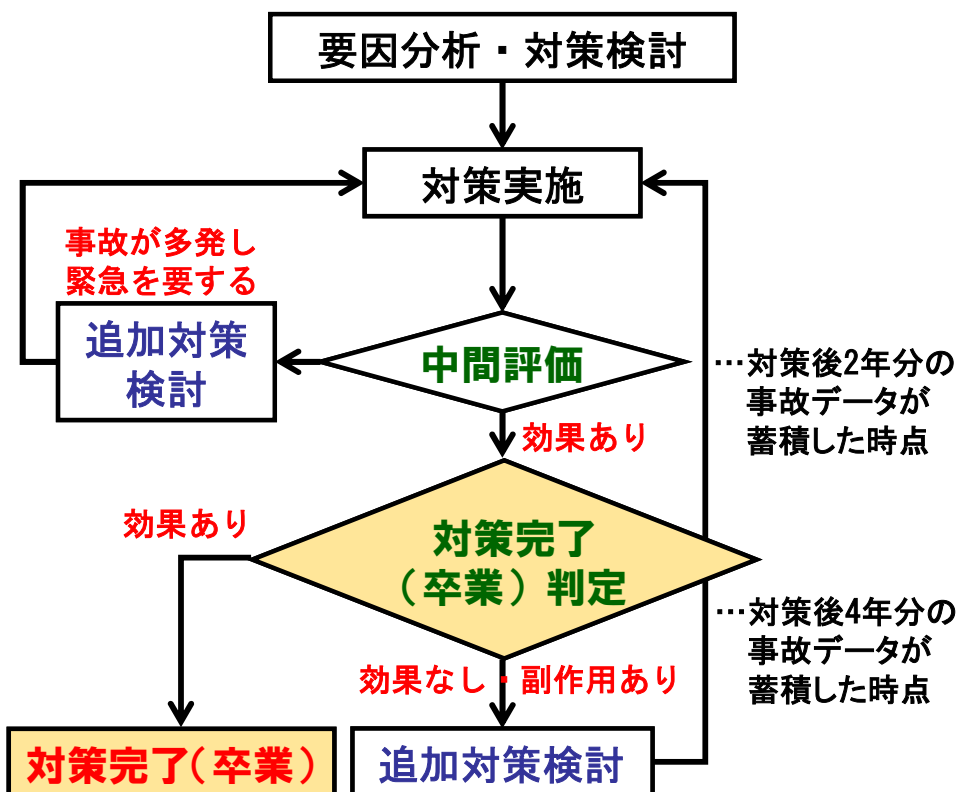
事故ゼロプラン対策完了(卒業)の考え方について(第27回委員会再掲)

- ・事故ゼロプランにて対策を実施した箇所については、対策実施後の事故データが4年分蓄積した時点で、「対策完了(卒業)判定」を実施することを第27回委員会にて承認されています。
- ・選定時の基準を下回るかどうか、だけでなく、管内の事故が経年的に減少していることを踏まえた上で、効果が“十分に”発現しているかどうか、を判定する基準とし、以下の2点を基準として評価を行います。

①事故件数の減少に閾値を設ける(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)

②「最新(第6期)」の事故危険区間選定指標の合致状況を確認

■新たなフォローアップ・対策完了(卒業)判定の実施フロー(案)



中間評価

■対象

対策実施後の事故データが2年分蓄積した箇所

■効果評価の視点

①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)

②対策前後で事故の種類や当事者別の発生件数を比較(副作用検証)

対策完了(卒業)判定

■対象

対策実施後の事故データが4年分蓄積した箇所

※初回のみ、対策実施後の事故データが4年以上蓄積した全箇所

■効果評価の視点

①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較
(選定時と比較し4割以上減少※しているかどうかを確認)

②最新(第6期)の事故危険区間選定指標に該当しないことを確認

⇒①、②の両方を満たす箇所を対策完了(卒業)とする

ただし、事故データ以外で選定された箇所(アンケート等)については対策前の事故が少ないことも考えられるため、②の判定のみとする。

※第11次茨城県交通安全計画(中間案)の交通死傷事故発生件数の削減目標を踏まえ設定。

初回判定時のみ、対策後4年以上経過した箇所を全て対象とする。

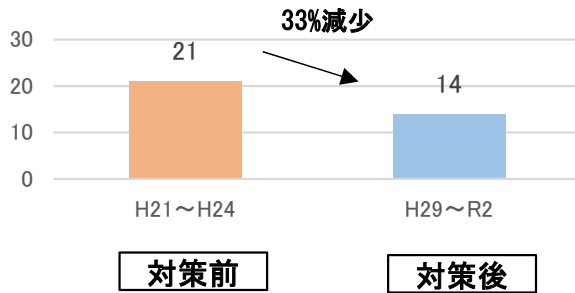
効果未発現箇所分析(代表箇所)

- ・土浦市「中(区間)」は追突事故を着目事故として対策を実施し、総事故、着目事故共に減少している状況です。
- ・しかし、下り線での追突事故の減少が少なく、事故削減率40%には達しませんでした。

■土浦市 中(区間)

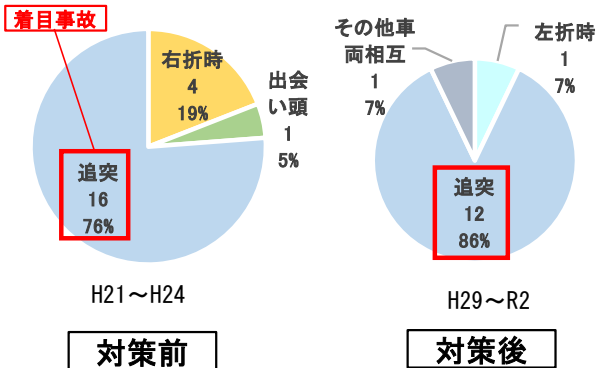
-卒業判定で該当した指標-
事故削減4割未達

【総事故件数の変化】



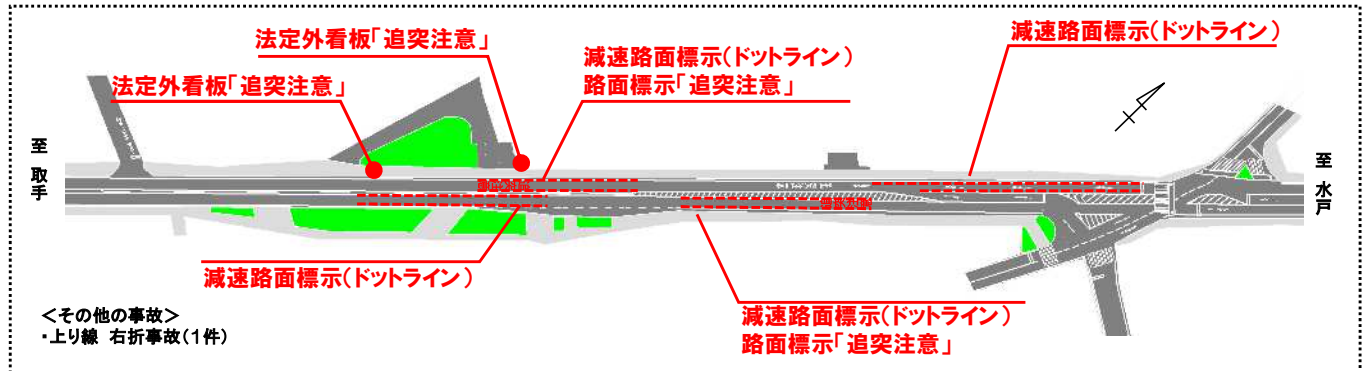
総事故件数は33%減少しているが、基準の40%に達していない

【事故類型の変化】

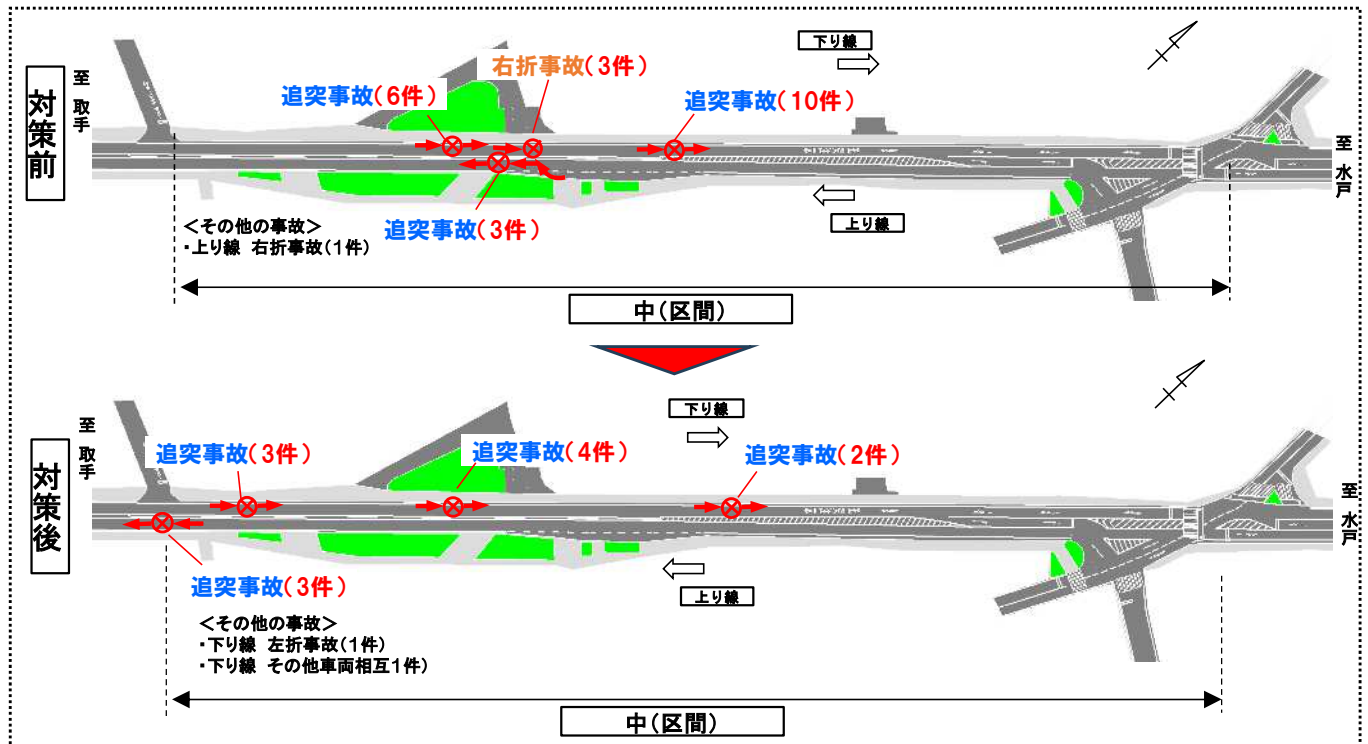


・着目事故である追突事故は16件から12件に減少(減少したが、依然として追突事故が多い)

【対策内容】



【事故発生状況の変化】

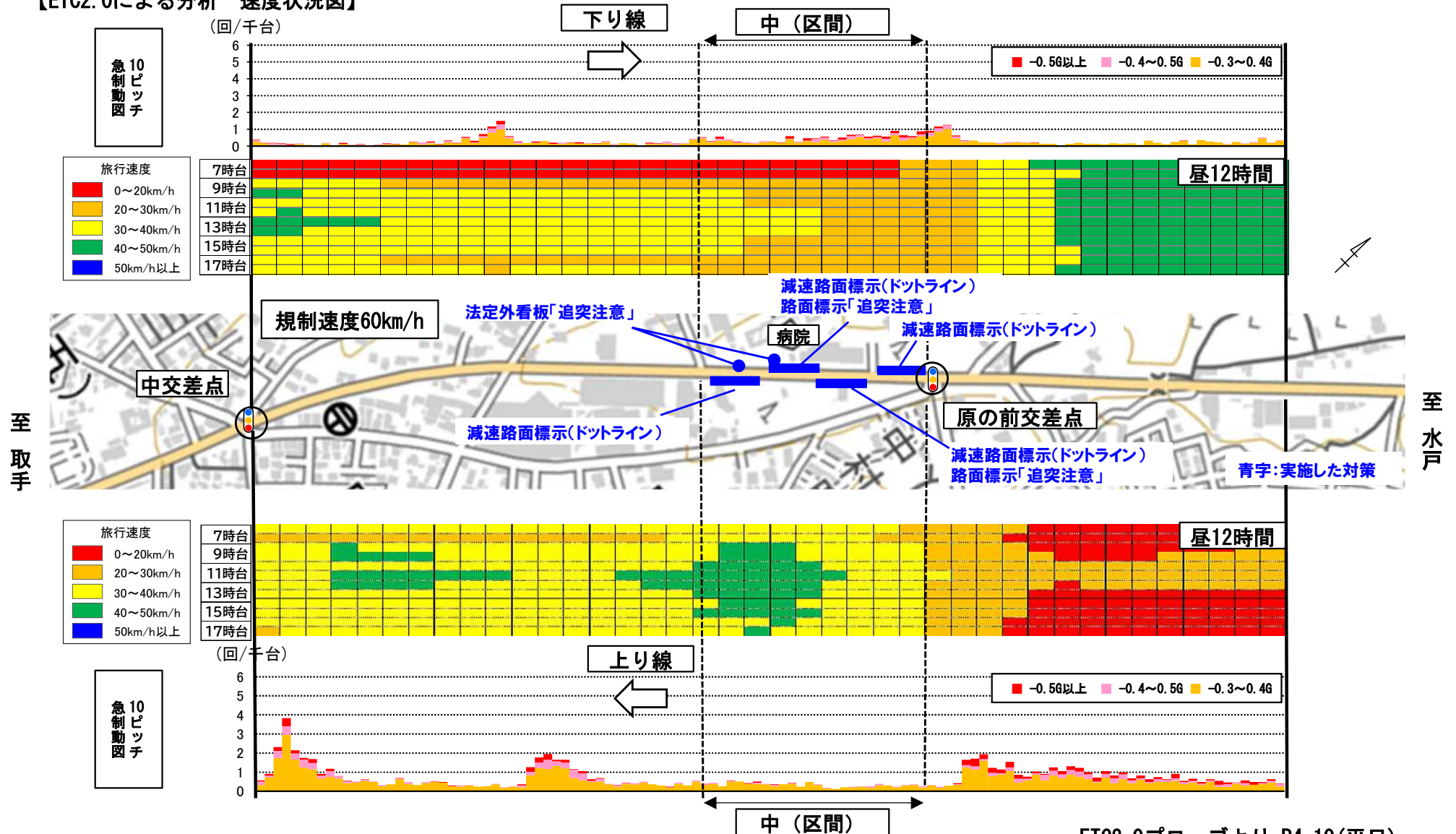


効果未発現箇所への分析(代表箇所)

- ・中(区間)の下り線は、渋滞が多発する区間であることから、路面標示の効果あまり発現しなかったことが考えられます。
- ・当該区間の追加対策においては、追突に対する追加対策を行う必要があります。

■土浦市 中(区間)

【ETC2.0による分析 速度状況図】



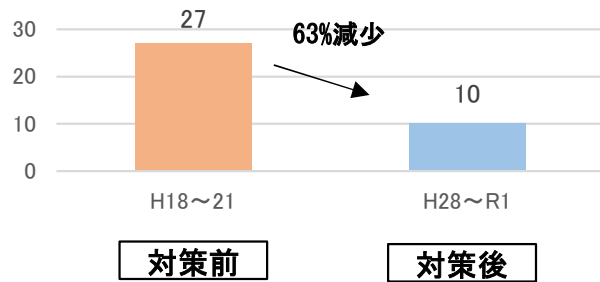
効果未発現箇所分析(代表箇所)

- 茨城町「長岡新田交差点」は出会い頭事故と追突事故を着目事故として対策を実施し、総事故、着目事故共に減少している状況です。
- しかし、新たに高齢者事故が発生したことから指標に該当しました。

■茨城町 長岡新田交差点

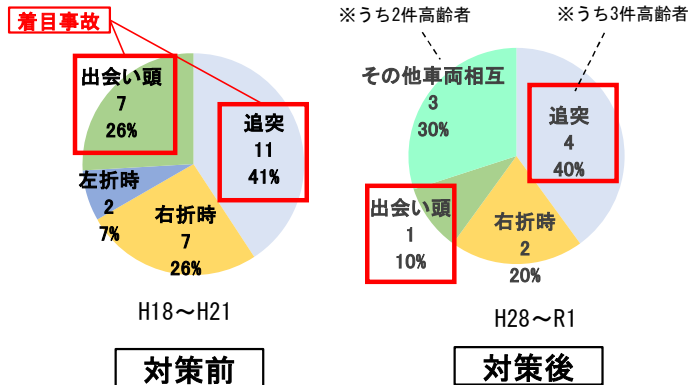
-卒業判定で該当した指標-
高齢者事故5件以上

【総事故件数の変化】



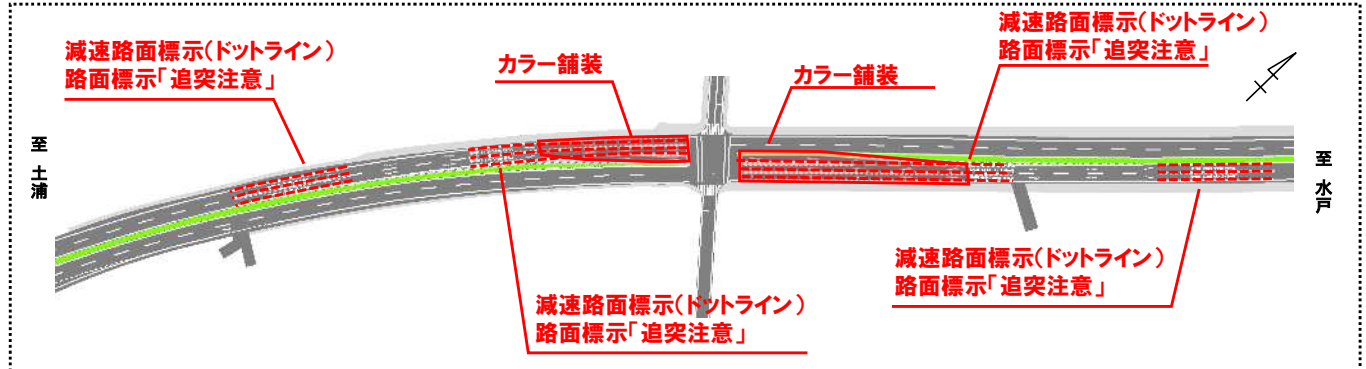
総事故件数は63%減少

【事故類型の変化】

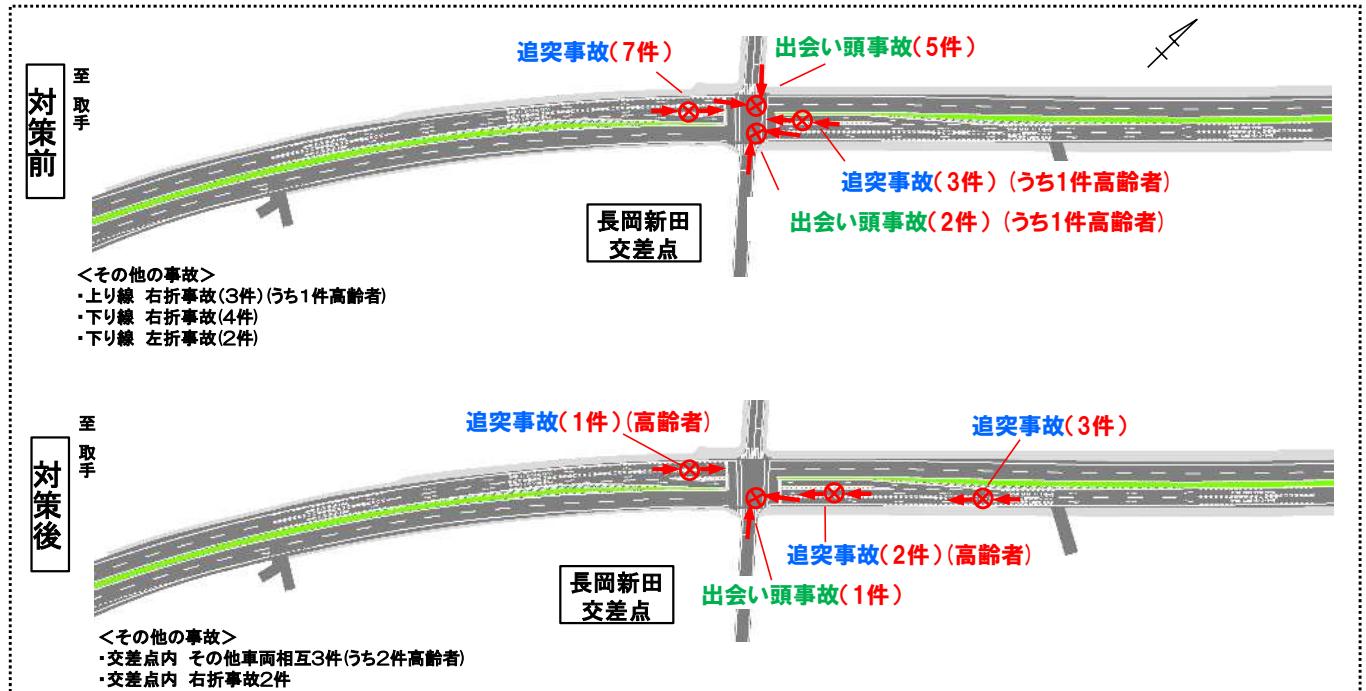


- 着目時である出会い頭事故は7件から1件に減少
- 着目事故である追突事故は11件から4件に減少
- 高齢者事故が5件発生しており、指標に該当

【対策内容】



【事故発生状況の変化】

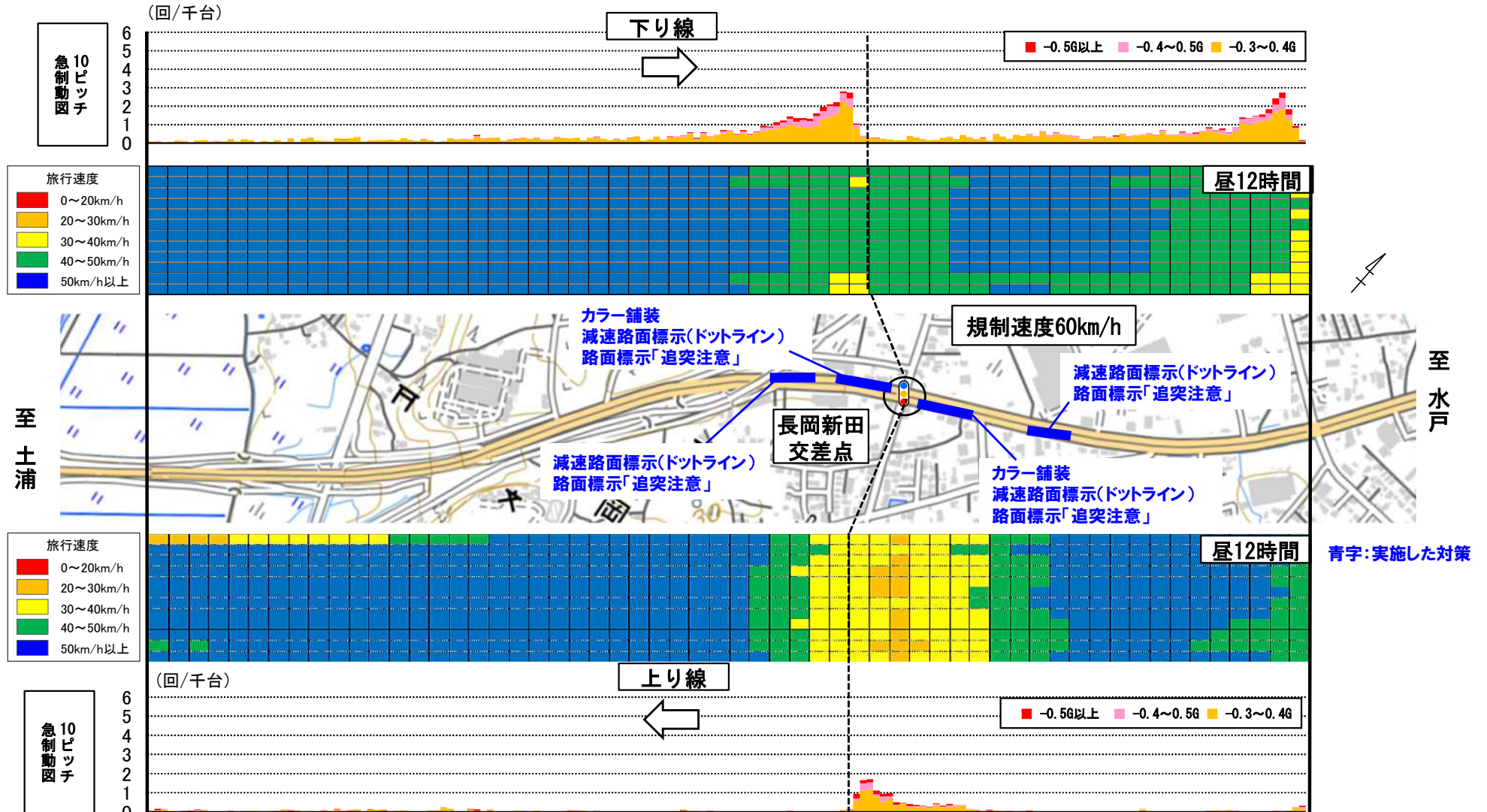


効果未発現箇所の分析(代表箇所)

- ・長岡新田では上下線ともに車両の速度が高い状況です。
- ・下り線に比べ上り線は交差点付近で速度低下が起きている。

■茨城町 長岡新田交差点

【ETC2.0による分析 車両1台ごとの速度変化図】



5. 新たな事故危険区間【第7期】の選定について

事故危険区間【第7期】の選定

- ・新たな事故危険区間【第7期】については、第31回委員会にて、茨城県の事故の特徴を分析した結果、第6期の指標選定時から概ね変わりがないことから、第6期と同様の選定指標で抽出することについて承認を頂きました。
- ・国管理の道路12区間、県管理の道路10区間が指標に該当しました。

事故危険区間第7期の選定結果(区間数)

茨城県内の幹線道路【約24,500区間】

最新事故データによる選定

総合的な指標
死傷事故率 など

県内の特徴的な事故の指標
歩行者・自転車事故 など

新たな指標
工作物接触事故、二輪車事故

国: 32区間
県: 30区間

第1期～第6期事故危険区間 およびH25・H29・R4事故危険箇所 選定済み箇所の除外

除外対象 国: 21区間
県: 20区間

新たな事故危険区間【第7期】

国: 12区間 県: 10区間

第7期の選定指標

■選定指標・基準

区分	選定指標	選定基準	常陸河川 国道管内 平均値 H27-30	選定基準の根拠	(参考) 第6期の 選定基準	H30-R3 選定基準該当区間数 6期までに検討済みの区間は除外	
						国 (常陸+宇都宮)	県
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台 キロ 以上				2区間	3区間
	②死傷事故件数	16件以上	3.2件	平均事故件数の 5倍	16件	1区間	1区間
	③死亡者数	2人以上	—	ワースト1位	2人	0区間	0区間
県内の特徴的な事故に関する指標	④歩行者自転車事故	8件以上	1.5件	平均事故件数の 5倍	8件	0区間	1区間
	⑤夜間事故	9件以上	1.9件	平均事故件数の 5倍	9件	1区間	0区間
	⑥子供事故 (1当、2当を含む)	2件以上	—	ワースト1位	2件	0区間	0区間
	⑦高齢者事故 (1当、2当を含む)	5件以上	—	過去の選定指標	5件	7区間	8区間
	⑧横断歩行者事故	5件以上	—	過去の選定指標	5件	0区間	1区間
	⑨追突事故	13件以上	2.6件	平均事故件数の 5倍	13件	0区間	0区間
	⑩正面衝突事故	2件以上	—	過去の選定指標	2件	0区間	0区間
追加指標 第4期	⑪工作物接触事故	1件以上	—	ワースト1位	1件	2区間	0区間
	⑫二輪車事故	3件以上	—	ワースト1位	3件	0区間	1区間
H30-R3 該当区間数 計 (1つの区間が複数指標に該当する場合があるため単純和とは異なる)						12区間	10区間

※選定基準は、以下のうちもっとも小さい値を採用。「選定基準の根拠」にいずれかを記載。

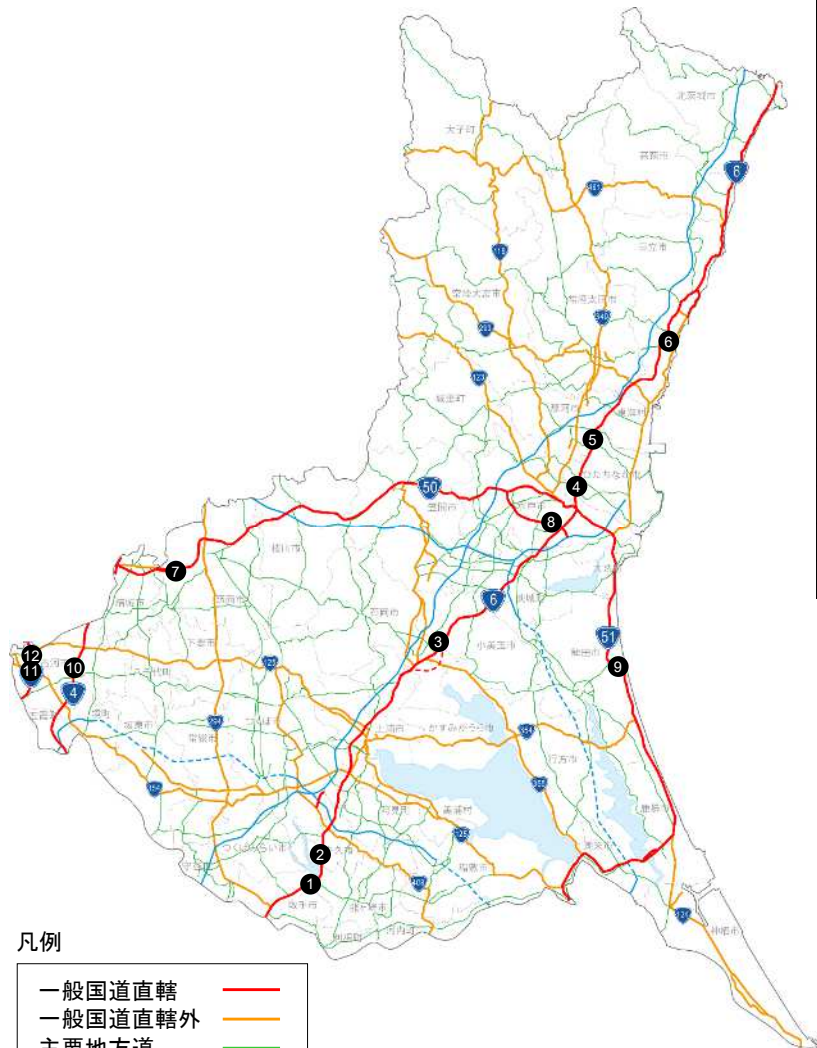
- ①常陸河川国道管内の事故発生区間における平均事故件数の5倍
- ②常陸河川国道管内のワースト1位
- ③第5期の選定基準

第31回委員会で承認済

事故危険区間【第7期】の選定 国管理の道路(12区間)

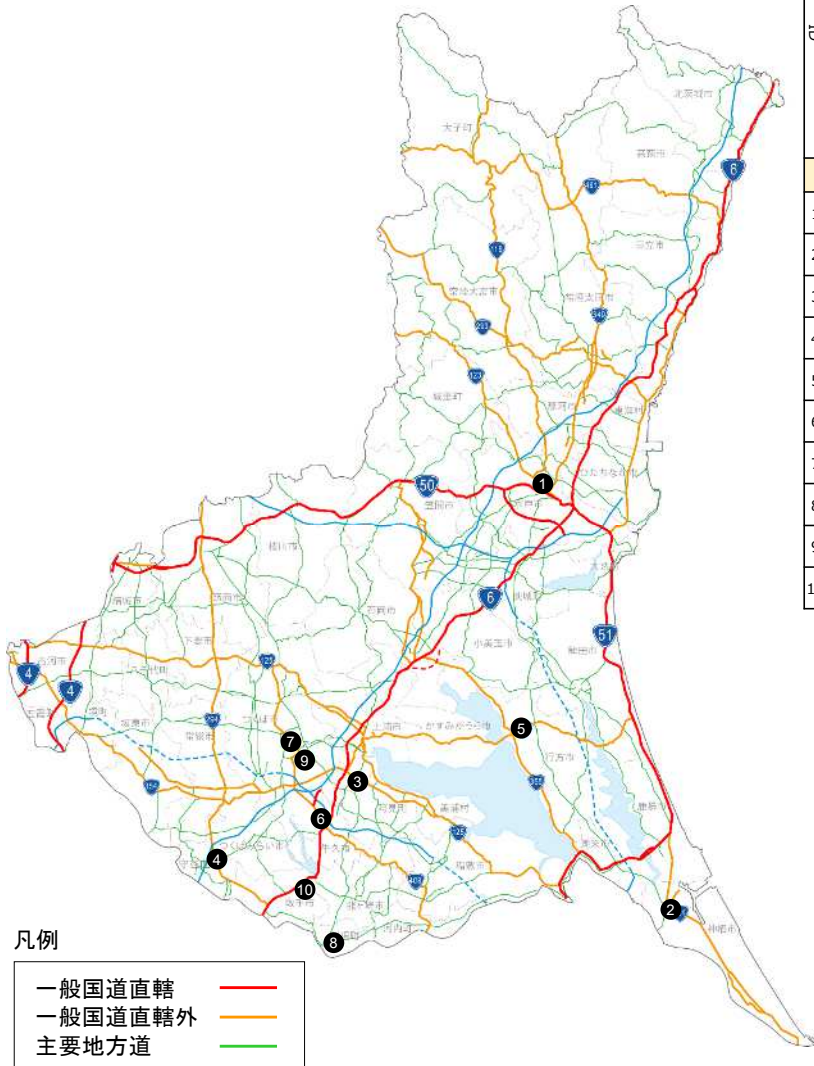
基本データ							H30-R03 事故データ												
ID	管理者	道路種別	路線番号	交差点/単路	市町村名	箇所名	イタルタ区間番号	基本指標			地域指標					新たな指標			
								死傷事故率	死傷事故件数	死者数	歩行者・自転車×重傷事故件数	夜間事故件数	子供(15歳以下)事故件数(1当2当)	高齢者(65歳以上)事故件数(1当2当)	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	(1当2当の組み合わせ)
基準値								300.5	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3
1	常陸河川国道	3	6	交差点	取手市	藤代高校入口交差点周辺	08-K60814-000	108.5	8	0	1	1	0	5	0	5	0	0	
2	常陸河川国道	3	6	交差点	牛久市	みどり野団地西交差点周辺	08-K50019-000	301.0	9	0	0	1	0	3	0	3	0	1	
3	常陸河川国道	3	6	単路	石岡市	石岡市東大橋(区間)	08-T65453-000	193.5	10	0	3	1	0	5	0	7	0	0	
4	常陸河川国道	3	6	交差点	ひたちなか市	枝川立体北側(合流部)	08-K08004-100	151.1	5	1	3	4	0	3	0	1	0	1	
5	常陸河川国道	3	6	交差点	ひたちなか市	佐和上宿交差点	08-K61161-000	121.6	5	0	0	2	0	1	0	2	0	1	
6	常陸河川国道	3	6	交差点	日立市	桜川町三丁目東交差点	08-K07187-000	112.4	5	0	1	0	0	5	0	0	0	0	
7	常陸河川国道	3	50	単路	筑西市	筑西市玉戸(区間)	08-T05270-000	143.8	7	0	0	1	0	5	0	7	0	0	
8	常陸河川国道	3	50	交差点	水戸市	四中南交差点	08-K61092-000	186.6	12	0	1	4	0	5	0	8	0	0	
9	常陸河川国道	3	51	単路	鉾田市	柏熊(区間)	08-T08264-000	121.0	8	0	0	1	0	5	0	4	1	0	
10	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	柳橋(北)交差点	08-K06566-000	240.9	16	0	0	9	0	2	0	9	0	1	
11	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	大堤交差点	08-K01930-000	284.7	5	0	2	2	1	5	0	0	0	1	
12	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	古河駅入口交差点	08-K01957-000	455.6	8	0	2	4	1	2	0	4	0	0	

■ 該当指標



- 凡例
- 一般国道直轄 —
 - 一般国道直轄外 —
 - 主要地方道 —

事故危険区間【第7期】の選定 県管理の道路(10区間)



基本データ							H30-R03 事故データ												
ID	管理者	道路種別	路線番号	交差点/単路	市町村名	箇所名	イタルタ区間番号	基本指標			地域指標					新たな指標			
								死傷事故率	死傷事故件数	死者数	歩行者・自転車×車両事故件数	夜間事故件数	子供(15歳以下)事故件数(1当2当)	高齢者(65歳以上)事故件数(1当2当)	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	(1当2当の組み合わせ)
基準値								300.0	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3
1	茨城県	3	118	交差点	水戸市	末広町3丁目交差点	08-K07042-000	345.8	9	0	2	2	0	2	0	3	0	0	1
2	茨城県	3	124	交差点	神栖市	大野原四丁目交差点	08-K06213-000	157.2	9	0	4	2	0	5	1	2	0	0	0
3	茨城県	3	125	交差点	稲敷郡阿見町	中郷東交差点	08-K61003-000	773.8	16	0	3	4	0	9	0	2	0	0	0
4	茨城県	3	294	交差点	守谷市	百合ヶ丘3丁目交差点	08-K50112-000	347.4	11	0	1	6	0	2	1	3	0	0	3
5	茨城県	3	354	単路	行方市	行方市玉造(区間)	08-T11981-000	61.8	8	1	0	5	0	5	0	4	1	0	1
6	茨城県	3	408	交差点	牛久市	牛久愛和病院入口交差点	08-K50832-000	235.8	8	0	3	2	0	5	0	2	0	0	1
7	茨城県	3	408	交差点	つくば市	春日3丁目交差点	08-K06849-000	231.8	12	0	6	3	0	5	1	2	0	0	1
8	茨城県	4	11	単路	取手市	取手市東(区間)	08-T04219-000	53.5	8	0	4	1	0	5	0	3	0	0	1
9	茨城県	5	123	交差点	つくば市	東新井交差点	08-K06697-000	261.8	11	0	2	4	0	5	0	2	0	0	0
10	茨城県	5	208	交差点	取手市	藤代庁舎東交差点	08-K00887-000	292.9	9	0	9	4	0	6	5	0	0	0	0

■ 該当指標

6. その他

こづるに 小鶴西交差点周辺改良事業について

- ・令和5年に、現在工事中の小鶴西交差点周辺の改良事業は、完成予定です。
- ・引き続き、完成後の周辺状況の整備効果について調査してまいります。

《小鶴西交差点周辺改良事業概要》

当該箇所は、国道6号と主要地方道大洗友部線が接続する十字交差点で、近傍には、茨城中央工業団地が立地し、県道を利用する右左折車両が多いため、追突事故が発生しています。また、県道の拡幅計画により交通量の増加が見込まれ、重大事故の発生の恐れが高くなっています。

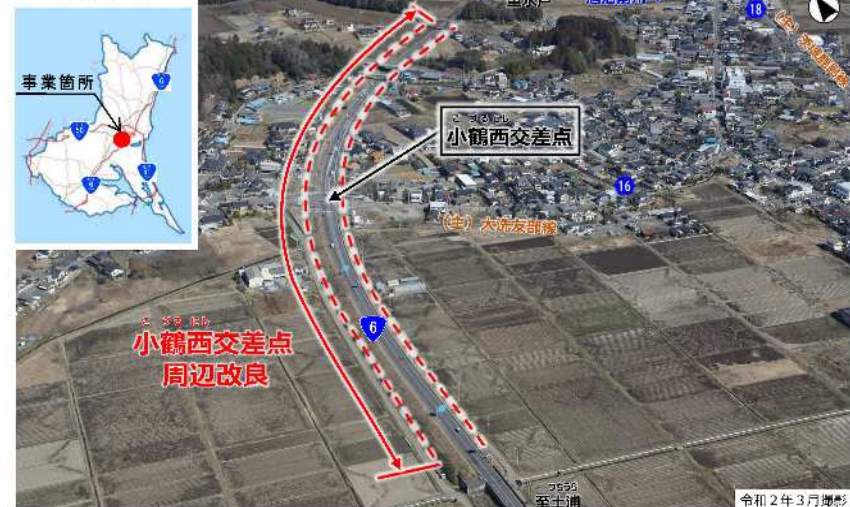
本事業は、付加車線の設置及び右折レーンの延伸を行い、交通流の円滑化を図るとともに追突等の事故防止対策を行う延長0.9kmの交通安全対策事業です。

《位置図》

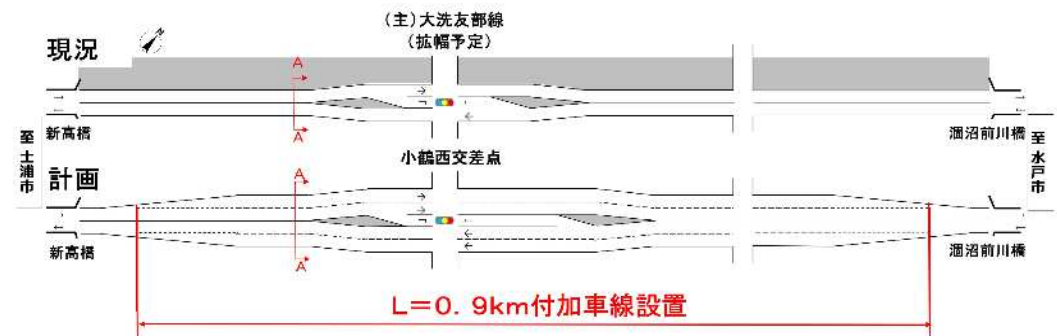


《位置図》

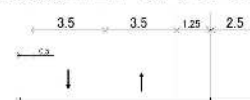
【位置図】



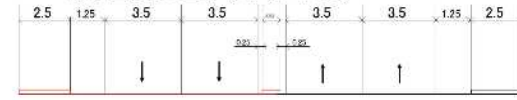
《対策内容》



【現況断面図】(単位：m)



【計画断面図】(単位：m)



今後の安全性向上委員会のスケジュール

○本日の委員会

2. 第31回委員会における主な指摘事項
3. 事故ゼロプランの取り組みについて
4. 交通安全対策検討
5. 新たな事故危険区間【第7期】の選定結果について
6. その他



○次回 安全性向上委員会(令和6年開催予定)

- ・ 事故危険区間の対策完了(卒業)判定
- ・ 合同現地診断結果
- ・ その他